

## 再評価結果（平成26年度事業継続箇所）

担当課：道路局国道・防災課

担当課長名：茅野 牧夫

事業名	一般国道506号 <small>とみぐすくひがし</small> 豊見城東道路	事業区分	一般国道	事業主体	内閣府 沖縄総合事務局
起終点	自： <small>おきなわけんとみぐすくしな</small> 沖縄県豊見城市名嘉地 至： <small>おきなわけんはえばるちやうやまかわ</small> 沖縄県南風原町山川			延長	6.2km
事業概要	<p>豊見城東道路は、那覇空港自動車道の一部を形成し、那覇空港へのアクセス性向上に資するとともに那覇都市圏の交通混雑の緩和を目的に計画された2環状7放射道路として、地域の産業、観光及び地域振興プロジェクトを支援する道路で、豊見城市名嘉地から南風原町山川に至る延長6.2kmの高規格幹線道路である。</p>				
H3年度事業化	H2年度都市計画決定 (H14年度変更)	H5年度用地着手	H9年度工事着手		
全体事業費	1,230億円	事業進捗率	約92%	供用済延長	6.2km
計画交通量	38,200台/日				
費用対効果 分析結果	<b>B/C</b> (事業全体) 1.5 (残事業) 4.3	<b>総費用</b> (残事業)/(事業全体) 71/1,624億円 事業費：62/1,578億円 維持管理費：10/46億円	<b>総便益</b> (残事業)/(事業全体) 310/2,495億円 走行時間短縮便益：258/2,031億円 走行経費減少便益：29/287億円 交通事故減少便益：24/177億円	<b>基準年</b> 平成25年	
感度分析の結果	<p>【事業全体】 交通量：B/C=1.3~1.7（交通量±10%） 事業費：B/C=1.5~1.5（事業費±10%） 事業期間：B/C=1.5~1.5（事業期間±20%）</p> <p>【残事業】 交通量：B/C=1.3~7.9（交通量±10%） 事業費：B/C=4.0~4.8（事業費±10%） 事業期間：B/C=4.1~4.3（事業期間±20%）</p>				
事業の効果等	<p>①円滑なモビリティの確保</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・損失時間削減量：【整備なし：239万人時間/年→整備あり：126万人時間/年】</li> <li>・旅行時間の短縮：西原JCTから那覇空港（第二種空港）までの所要時間が短縮【開通前：56分→将来完成開通：22分】</li> <li>・旅行時間の短縮：那覇空港から本島北部、中部への速達性・定時性向上。那覇空港から海洋博記念公園（美ら海水族館）への所要時間が短縮【開通前：131分→将来完成開通：117分】</li> </ul> <p>②暫定開通の効果</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・暫定2車線開通により、環状道路機能が強化され、那覇都市圏の交通分散効果が向上</li> </ul> <p>③個性ある地域の形成</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・豊見城市は2013年都市成長ランキングで全国789市と東京区部の中で1位。</li> </ul> <p>④安全で安心できる暮らしの確保</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・豊崎タウンから県立南部医療センター（三次医療施設）までの所要時間が短縮【開通前：43分→将来完成開通：24分】</li> </ul> <p>⑤地球環境の保全</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・CO2排出量が0.6万t/年（0.3%）削減【187.4万t/年→186.8万t/年】</li> </ul> <p>⑥生活環境の改善・保全</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・NOX排出量が19.48t/年削減（31.3%）削減【62.32t/年→42.84t/年】</li> <li>・SPM排出量が1.11t/年削減（32.0%）削減【3.47t/年→2.36t/年】</li> </ul>				
関係する地方公共団体等の意見	<p>沖縄県の高規格道路網は、本土における鉄道網と同様な機能も併せ持っており、那覇空港自動車道は、沖縄自動車道、沖縄西海岸道路と一体となって、車社会である本県の振興発展に極めて重要な役割を担っている。</p> <p>現在、暫定供用している豊見城東道路は、既に供用した南風原道路や整備中の小禄道路とあわせ、那覇空港に接続し、道路交通ネットワークの要所となる道路で、那覇空港へのアクセス性の向上、都市部の交通混雑の緩和、更には、観光振興並びに産業振興に寄与する道路である。</p> <p>平成20年3月の全線暫定供用後には、周辺一般道の渋滞が緩和されるなどの事業効果が発現されており、事業の投資効果の有効性が確認されている。</p>				

しかし、那覇空港自動車道全体をみると豊見城東道路の暫定供用された区間は那覇空港方面への交通のボトルネックとなっており、朝のピーク時には渋滞が発生している為、暫定2車線から完成形である4車線化の早期の整備が必要と考える。

したがって、対応方針（原案）のとおり事業継続に同意する。

**事業評価監視委員会の意見**

- ・対応方針（原案）に対して審議を行った結果、「事業継続」で了承された。

**事業採択時より再評価実施時までの周辺環境変化等**

- ・那覇市周辺部、なかでも豊見城市、南風原町の人口、自動車保有台数の伸び率は高い。
- ・県全体の観光客数は増加しており、本島南部と中部・北部を結ぶ道路としての期待大。
- ・平成24年度には「国際物流拠点産業集積地域」制度が創設され、那覇空港自動車道の整備により空港へのアクセス性が向上し、物流の支援も期待される。
- ・豊見城東道路の交通量は増加傾向であり、2車線暫定開通の交通容量を超過している。

**事業の進捗状況、残事業の内容等**

- ・事業進捗率約92%（H25.3末現在）、用地進捗率約99%（H25.5末現在）

**事業の進捗が順調でない理由、今後の事業の見通し等**

- ・平成25年度に豊見城IC～南風原南ICの完成開通予定
- ・平成26年度に豊見城・名嘉地IC～豊見城ICの完成開通予定

**施設の構造や工法の変更等**

- ・技術の進展に伴う新工法の採用等による新たなコスト縮減に努めながら事業を推進。

**対応方針**

事業継続

**対応方針決定の理由**

以上の事業の効果及び進捗状況、関係する地方公共団体等の意見、事業評価監視委員会による審議を踏まえると、事業の必要性、重要性は当初から変わらず、事業を継続する必要があるため。

**事業概要図**



※ 総費用、総便益とその内訳は、各年次の価額を割引率を用いて基準年の価値に換算し累計したもの。  
 ※ 総費用及び総便益の値は、表示桁数の関係で内訳の合計と一致しないことがある。